

【内浦学区・内海学区】

（仮称）千年小中一貫教育校（義務教育学校）に係る地域説明会② 概要

*分かりやすくするため、一部補足を加えています。

【日時】 2020年（令和2年）2月27日（木） 19:30～21:00

【場所】 うつみ市民交流センター 多目的ホール

【出席】 参加者 94人（傍聴7人を含む。）

行政 11人（教育長，教育次長，管理部長，学校教育部長 他）

【内容】 1 開会

2 説明

・地域説明会以降の取組状況について

・学校再編について

3 意見交換

4 閉会

※当日の説明会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催しました。

教育長（学校再編について）

- ・昨年10月から保護者の皆さんと話し合いの場を持ち、話を聞かせていただきました。十数名の参加ではありましたが、時間の許す限り、話を聞かせてもらいたいという思いでした。一番強く思ったことは共通していて、皆さん内海町というまちが大好きで、地域の人や家族も含めて大好きだということでした。「できることなら町に学校があってほしい、学校を残してほしい」という思いは、皆さん共通の思いだということもよく分かりました。しかし、「子どもの数が少なくなっている状況で、子どもの将来を考えると心配だ」といった保護者の思いをたくさん聞かせてもらいました。保護者から聞かせてもらったことに、一つ一つきちんと応えていけないといけないという思いを強く持ちました。とても貴重な時間でした。もっと多くの人と話をしたかったので、話し合いの期間を当初の予定よりも延長して行いました。
- ・話し合いに来られた方は、新しい学校に行かせたいという思いを持っている方がほとんどでしたが、「こういう場に来ること自体がしんどい」という思いも共通して聞かれました。「この場で教育長と話をしたということが分かるのが怖い」とか、「心配だ」とも言われました。話し合いの申込方法や話をした内容も含めて、そうした思いに最大限の配慮をしました。
- ・地域役員の方とも何度も話をさせてもらいました。地域役員の方が皆さん同じ意見ということはありませんが、「内海町のこれからのことや子どもの教育環境のことを考えた時に、このままではいけない」という思いを伺いました。「十数年前、内海町に幼稚園・小学校・中学校を一緒にした学校をとこの地域の取組があった際に、なかなか町内が一つにまとまらなかった、同じことを繰り返してはいけない」という思いも話してくださいました。
- ・「地域が好きで、家族が好きで、親戚や知り合いが好きなので、内海町に学校はあってほしい、あるほうが良い、残したい」という思いは皆さん持たれています。「緊密な人間関係だけに、家族の中でも反対・賛成となると分かれてしまい、表立って言うことはとてもしんどい」という声も聞きました。

- ・「アンケートに自分の思いを書けない、話合いに行くのもしんどいという声を聞く中、お世話になった方や一緒に色んなことをやってきた方がたくさんいる。子どもの将来のことやまちに対することで、自分自身の意見や思いはあってもなかなか言えない、アンケートは出せない」という話もありました。
- ・こうしたこれまでの取組を通して、「新たな学校をつくる」ということ、「まちづくりについて話を始めたい」ということが、皆さんの総意であると判断しました。これからは、どのような新たな学校をつくっていくのか、どのようなまちづくりをしていくのかということについて話をしていきます。「新たな学校をつくる、新しい学校づくりに向けてスタートを切る」本日の会は、その区切りにします。

意見交換（出席者から出された意見等）

要望書やアンケート、話合い等に関すること

- 内海町に1校でいいから学校を残してほしいという要望書を提出しているが、どのように受け止めているのか。
- 再編問題については、基本的には内海町の総意を前提として進めると言われていたので、きちんと守ってほしい。
- 今日が最後という言い方をされたが、昨年5月の地域説明会の際には、何回でも話したいと教育長は言っていた。
- 保護者がとったアンケートや要望書を見ながら、たくさんの方が、地域に学校が必要だと思っている。署名の集まった数字を考えると、アンケートよりも署名の方が地域の総意だと思う。

→（回答）

この間の話合いなどから、ここにおられる皆さん全員が、再編に反対なのではないと受け止めています。このような会・時間をいつまでも持つことを繰り返して、物事が決まったり進んだりするのでしょうか。この場で賛成の方は声をあげてほしいということはとても言えません。皆さんが色んな思いでおられることは、私なりによく分かっています。

「再編に賛成と言えない」という声や、「地域に学校があつたらいいとは思いますが、これから子どもの人数が増えるとは思えないし、ここまで少人数になったら心配だ」「小規模の学校は穏やかで安心だからいいということもあるかもしれないが、どんどん変わっていく社会の中に子どもが出ていくことは不安だ」とも言われました。そのような思いも含めて、この場で賛成という意見は言えないと思います。その思いを引っ張り出そうというような、どんどん追い詰めるような状況になることは決して良くないと思います。

この間の色んな経過の中で、教育委員会がそのような状況にしてしまったと言われても仕方がないと思います。申し訳ないとしか言い様がありません。そういう状況の中で、意見を言うことが難しいということもよく分かります。皆さん全員が一人残らず賛成ということではないにしても、子どものための教育環境や、これからのまちづくりを考えた時に、前向きに話をし

ていきたいという思いが総意だと受け止めました。それをこの場で皆さんに表明してもらうことは難しいことだと思います。

何回でも話をしたいという思いはあります。5月の地域説明会の際、声の大きい人や反対の人ばかり話をして発言できなかったということを聞いたので、すぐに個別にでも、地域や保護者の方と話をさせてもらいたいということ、内海町教育環境整備推進協議会を通してお願いしました。しかし、協議会と保護者の間で話合いが持たれるなど諸事情により話ができず、長い時間がかかってしまいました。

皆さんの様々な思いが一つになるということは、難しいと思います。区切りを付けて新しい学校をつくること、まちづくりをどうするかという話を始めさせてもらいたい。思いはいくらでも聞かせていただきます。

- 教育委員会が行ったアンケートは提出数が少ないので、とても総意とは言い難い。
- 3分の1の人が残してほしいという声があるという状況をどのように思うのか。
- 自分の出身校が対象になっても、再編するのか。

→ (回答)

自分の出身校が再編の対象になったとしても、子どもたちのために再編する必要があると思います。自分の地元以外の地域だからという考えは全くありません。子どもの数が少なくなっている状況だからこそ、これ以上放っておけない、このままに出来ないという思いです。

今日はこのような会にするつもりはありませんでした。全体で集まると反対の人は意見が言えますが、賛成の思いは言えません。そのため、保護者と個別に面談をさせていただき、アンケートも厳封して返してもらうようにしました。それでも、「アンケートに答えないように、教育長との面談に参加しないように言われたので、参加したことが分からないようにしてほしい」という声を聞きました。

この場で、そういうことを誰が言ったのか、賛成なのか・反対なのか、ということ問うような会にしたなら、本当の思いや考えは何一つ発言できません。それだけしんどい思いを持ってここに来られている方もおられます。今日も、そういう会になるのなら行きたくないと思って来られていない方もおられます。ここは引くことはできません。これはごく一部の声ではありません。子ども同士のことだったり、仕事の関係だったり、それぞれにお世話になったという気持ちがあるため、再編に前向きな思いを言えない方がたくさんおられます。

- 2019年5月以降の取組状況をみると、PTA役員が意見交換に出席されていることが多いと思う。PTA会長の負担が精神的にもすごく大きい。PTAは行政とのやり取りに関しての責務はないはずだ。

→ (回答)

これまで歴代のPTA会長に窓口になっていただき、相談をして考えを聞かせていただきながら取組を進めてきました。保護者・地域と教育委員会の間に立って、悩み考えてくださり、負担をかけてしまったと思います。とても感謝しています。

PTAは任意団体ですが、保護者と学校の組織で、役員はその代表です。会長には、保護者が意見や不安な思いを言いやすいようにどのような説明会や意見交換会にするか、会の持ち方

や内容について相談をしました。「今回は保護者全体に説明してほしい」「今回は全体では意見が出しにくいので学年で分けたグループごとで行おう」「保護者の声を丁寧に聞くため個別に話し合いをしてほしい」といったように、御意見をいただきながら進めてきました。

- 役員として学校再編に関わり、たくさんの方と色々な話をさせてもらった。色々な考え方があって、色々な立場で考えられているのだと感じた。賛成・反対という言葉は難しいが、保護者の方はものすごく悩まれている。賛成か反対かとも言えない方もいる。学校は残った方がいいに決まっているが、このまま再編が進み、自分の子どもがそこに通うとなった時、今のままの状況で何事もなく通わせられるのか、どうしたらいいだろうかという声も聞いている。再編に対して、賛成や早く判断してほしいという明確な思いがあることも事実。
- ここまで長引いているので、早く決めてほしい、内海のまちづくりのことをもっと考えたいということは、同様に思っている。このような会を何度もするのはよくない。現状を踏まえる中で、もっと前を向いて実のある話をしなければならないと思う。このような会にこれまで何回か参加したが、非常に発言しにくい。

→ (回答)

この場でこうした意見を言うことは、とても勇気が必要だったと思います。申し訳ない思いです。

- 内海小・内海中の保護者との協議を重ねられているが、内浦小への対応が見えないので、保護者の思いを聞く努力をしてもらいたい。話をしにくい状況があるのであれば、地域役員を通してもらってもよい。

→ (回答)

内浦小保護者にも同様の声かけ等をさせていただいています。役員には、電話や手紙で連絡させていただいていますが、内海小や内海中のように、話し合いの場に来ていただける状況にはなっていません。直接話をしたいと思っているので、改めて相談させていただきたいと思いません。

- 色々な考えの人が何とか一つにまとまれるよう、内海町に少なくとも一つは学校を残し、千年の義務教育学校と選べるような状況を作ってもらいたいという要望書を出した。分断するような状況を作らないでほしい。
- (参加者に対して) 賛成・反対の意思表示をしてほしい。

→ (回答)

分断させる状況にしたのが教育委員会と言われたらそうだと思います。それだけ色々な思いを皆さんは持たれています。思いを中々声に出せないという話をさせてもらったが、賛成か、反対かで表示をすることは、まさに分断を生むことになります。

学校再編に関すること

- 私たちには、誰もが無償で通える地域の学校を運営することはできないので、残してほしいと強くお願いしている。私立の学校なら可能かもしれないが、内海の人がみんな通える学校として。公共の学校を残すことに強くこだわっている。

→ (回答)

福山市も少子化が進んでおり、内海町の子どもの数も減ってきている状況は、皆さんが一番分かっておられると思います。内海町に住みながら、より良い教育環境の学校で学んでほしいと考えています。

地域に学校を残してほしいという気持ちはよく分かります。しかし、これからの変化の激しい社会を見据え、子どもたちがたくましく生きていくことができるよう、思考力や判断力、表現力、学びに向かう力、コミュニケーション能力など、必要な力をつけていかなければなりません。そうした力を育む主体的・対話的で深い学びには、一定の集団規模が必要です。教育内容の充実のためには、皆さんの協力が必要です。内海町に住みながら千年の義務教育学校に通い、より良い教育環境の中で子どもたちを育てていきたいという考えです。

内海に一つ学校をつくるとしても、人口推計からも厳しい状況があります。新たな学校をつくるということについての前向きな話を始めさせてもらいたい、まちづくりをどうしていくのかということについては既に話し合いは行われていますが、今後は、跡地活用も含め話をさせてもらいたいと思います。

- 2016年の学校教育法等の改正における義務教育学校の設置の在り方の留意事項に、「地域と共にある学校づくりの観点から保護者や地域住民の理解と協力を得ながら進めていくことが重要である。学校統廃合の促進を目的とするものではない」と書かれている。
- 文部科学省が2015年に出している「適正規模・適正配置等に関する手引」の中で、「小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化することが出来るような工夫をし、小規模校を存続させる場合の教育の充実」ということも書かれている。
- 2018年に「遠隔教育の推進に向けた施策方針」が出ており、「小規模校で遠隔システムの活用等をして、色んな地域との関わり等を持てるように、児童生徒の多様な特性や状況を把握しながら、教育活動を行ってください」というようなことも書かれている。

→ (回答)

福山市は、再編の取組にあたって、教育委員会の附属機関として、学校教育環境検討委員会を設置し、協議を重ね、望ましい学校規模等について答申をもらいました。その答申の内容を踏まえ、「小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」と「学校規模・学校配置の適正化計画」を策定しました。学校再編計画は、教育委員会だけで策定したものではなく、パブリックコメントも実施し、議会にも報告する中で、策定したものです。

文部科学省の手引には、各自治体で実情は様々であることから、この手引を参考資料として利用するようにと書いてあります。

ICT教育機器を活用し、遠隔授業やテレビ会議も出来ないことはありませんが、一緒に過ごす、一緒に学び合うことが、子どもたちの持っている可能性や能力を引き出していく、社会

性などを培っていく上で大変大事なことです。内海町から千年の義務教育学校へは、スクールバスで10分から15分程度で通うことができます。色々な考えをもった友だちと一緒に学校生活を送りながら、自分の力をしっかり伸ばしていくことのできる環境で、子どもたちを育てていく考えです。

○ 千年小中一貫教育校の建設予算は既についているのか。建設会社は内定しているのか。

→ (回答)

建設予算は、3月議会での議決予定です。建設会社の決定は、予算が通ってからになります。

○ 千年小中一貫教育校とイエナプラン教育校が整備されると思うが、どちらに行くとしてもスクールバスを出してもらえるのか。

○ 常石のイエナプラン教育校に行くとなると、恐らく路線バスが出ていないと思う。内海はバスの本数も大変少ないので、地域的な問題がネックとなって、イエナプラン教育校に通えないということになり、選択肢を一つ削ってしまう可能性がある。

→ (回答)

沼隈町には、千年の義務教育学校と常石のイエナプラン教育校の整備計画があります。義務教育学校は、内浦と内海、能登原・千年・常石の5学区の義務教育学校であり、学校選択によりその他の学区からの通学も可能とします。イエナプラン教育校は、本市の多様な学びの場の一つとして創設する学校であり、市内全域から希望すれば選択できる学校という位置付けです。義務教育学校には内海町からスクールバスを運行し、安全に登下校できるよう保障します。イエナプラン教育校には、基本的には自分で選んで行く学校のため、自力（保護者の送迎）で通っていただくように考えています。

○ 尾道市では保護者の署名等で、統廃合を考え直していたりするが、福山市ではなぜ同様のことができないのか。

→ (回答)

尾道市の計画とは状況がかなり違います。尾道市の担当者とも話をしましたが、校舎の老朽化、学習環境としての安全面が一番の課題とのことでした。

○ 学校では、少人数のため、教員と児童、1対1の授業をしている。これを手厚いと思えるか、反対の方で見るか、複雑な思いがしている。これがあるべき姿なのか、子どもたちのためになるのだろうかと思った。

○ 千年に一貫校ができて、各学年2クラス程度だと思える。千人超といった特別大きな学校とは思わない。中学校まで少ない人数の学校にいて、高校に進学して圧倒されたという思いもある。再編されても決して大きな人数とは思わないし、適正な人数だと感じる。

→ (回答)

義務教育学校としての規模は、各学年2クラスから3クラス程度が適当です。教育活動や学校運営において、教育効果が高まる望ましい学校規模です。

地域に関すること

- 毎年人口の1%を目ざし、空き家対策を進めている。2015年8月に再編計画が新聞報道され、若い世帯の申込みが少なくなった。空き家対策の活動により、町内の生徒の町外への流出が止まり、町外からも内海町の学校へ来るようになった。内海は、民泊や婚活等、我々の出来ることは地域として頑張っている。他の地区と比べても、内海のような場所はないと思う。小さな学校だが、残すと宣言すれば住民は安心して住むことができるので、少しずつでも人口は増えてくると思う。
- 他の地区で学校がなくなってどれだけ寂しくなったか、つまらないまちになったか知っているのか。

→ (回答)

2015年度にこの計画を公表して以後、皆さんとお話をするため、内海に何度も足を運んできています。民泊や空き家対策等、内海の皆さんが取り組まれている活動を聞かせていただき、素晴らしいと実感しています。民泊もそうですが、関係人口創出事業など、行政も地域と一緒にしている取組もあります。これからも力を合わせて、一緒に取り組んでいきたいと考えています。

急速な少子化の進行に伴い、全国で学校の再編が進んでいます。地域も様々ですが、学校が再編し、寂れたと言われる地域も確かにあります。これまで、再編後のまちづくりの取組を学ぶため視察をしましたが、学校の跡地を活用し、地域が一丸となった取組により活性化が図られている地域はたくさんあります。内海町のまちづくりについては、新しい学校づくりと並行し、より力を入れて取り組んでいく考えです。

- 今の学校でも、休耕地を開拓したところに野外活動に来てもらうなど、地域が協力できることをやっている。地域の協力なくしては、学校はあり得ないと思う。

→ (回答)

地域と学校が密接に連携し、お互いに協力していくことは、新しい学校になっても同じです。地域や保護者の皆さんの学校に対する協力は、本当に素晴らしいと思っており、感謝しています。

新しい学校にも、地域の方の御協力をお願いしたいと思います。内海の多彩な資源を使った教育活動を積極的に進めたいと考えており、それには地域の方々の協力が必要です。地域と学校、子どもたちとのつながりを大切にしながら新しい学校づくりを進めていきます。子どもたちのために、新しい学校づくりを一緒にしていきましょう。皆さんの御理解と御協力をお願いします。